



株式会社 FORTHEES

(東彼杵町)



お話を伺ったのは
代表取締役

ふくだ しんや
福田 新也 さん



つたエール けん

県内で頑張っている企業や人に
エール(応援)を送ります!

お茶の需要が減る中、 4人で新事業に挑戦

東彼杵町は県内のお茶の約60%を生産する“お茶のまち”で、そのぎ茶の蒸し製玉緑茶は全国茶品評会で毎年高い評価を得ています。しかし、昔に比べて急須でお茶をいれる習慣が少なくなり、緑茶の需要は減少しています。そこで、2018年に私を含めお茶農家の後継者4人が手を組み、そのぎ茶の新しい可能性を広げべく、西九州で初となる碾茶※工場の運営に挑戦したのがFORTHEESの始まりです。

※茶葉を揉まずに乾燥させたお茶。抹茶は碾茶を茶臼でひいたもの



大村湾を望む東彼杵町八反田郷に立つ碾茶工場



工場内には茶の水分を散らす散茶機や乾燥させるための碾茶炉などを設置

人気上昇中の抹茶を 自社工場で製造し販売

碾茶工場で加工製造される抹茶は、ドリンクやお菓子の材料として需要が伸びており、海外のプロモーションでも抹茶コーナーは人気です。新型コロナの影響で大変な時期もありましたが、地道に営業したことで、品質の良さを評価していただき、注文も順調に増えています。現在、碾茶の年間生産量は約30トンで、抹茶を使った商品も開発しており、県内外の菓子店や飲食店のほか、海外にも販売しています。

そのぎ茶のために、 自分たちができることを

社名には4人のフォー(four)と、「～のために」の意味のフォー(for)を組み合わせ、「そのぎのために」という思いを込めています。そのぎ茶は県内では有名ですが、全国的な知名度はまだ低いので、FORTHEESの抹茶を広めながら、そのぎ茶も国内、海外に向けてアピールしていきたいと思っています。今年中には工場横にカフェをオープン予定です。海外にもさらにアプローチして、抹茶の販売量を今よりも増やせるよう頑張ります。



抹茶のポップコーンや「まちゃらってい～」など、FORTHEESで企画・開発した抹茶を使った商品

全国で高い評価を得る「そのぎ茶」を世界へ！
茶園の後継者4人で、西九州唯一の碾茶工場を運営

